

UmbrellaリダイレクトURLによるChrome警告ページを回避するようにGoogle Chromeを設定する

内容

[はじめに](#)

[背景説明](#)

[症状](#)

[回避策](#)

はじめに

このドキュメントでは、UmbrellaリダイレクションURLが原因で発生する警告ページを回避する方法について説明します。

背景説明

UmbrellaリダイレクトURLが原因で、ユーザーをタイプスクワッティングされたドメインや似たようなURLから人気サイトに保護するGoogle Chromeの機能が警告ページをトリガーする可能性があります。

症状

この機能がトリガーされると、親ドメインだけを示す警告ページが表示されます。ブラウザで要求されるURLは、ユーザをサーバにリダイレクトしようとする場合に、www.google.com.x.12345fe0155a04000000051af7976e.98765.id.opendns.com:443のようになります。



Did you mean [google.com](https://www.google.com/)?

The site you just tried to visit looks fake. Attackers sometimes mimic sites by making small, hard-to-see changes to the URL.

Ignore

Go to [google.com](https://www.google.com/)

360065425452

回避策

- ignoreを選択すると、今後そのドメイン/URLに対する応答がキャッシュされます。
- また、この機能を無効にして、今後同じことが起こらないようにすることもできます。これを行うには、<chrome://flags/#use-lookalikes-for-navigation-suggestions>に移動して、disabledを選択します。

● Use lookalike URL suggestions for navigation suggestions

Use lookalike URL suggestions to suggest navigations to users who face domain not found error. – Mac, Windows, Linux, Chrome OS, Android

[#use-lookalikes-for-navigation-suggestions](chrome://flags/#use-lookalikes-for-navigation-suggestions)

Disabled



360069757991

この機能を無効にしても問題が解決しない場合は、Cisco Umbrellaサポートに連絡して、さらにサポートを求めてください。今後は、このような誤検知を防止する取り組みを進めていきます。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。